

九条の樹

東久留米「九条の会」ニュース 第21号
2009年5月発行・東久留米「九条の会」
代表者 古田足日・連絡先 鈴木 TEL 042-473-9489
<http://members2.jcom.home.ne.jp/hgsk9jk/>

六十二回目の憲法記念日に

日本国憲法が施行された1947年（昭和22年）は日本が15年戦争といわれる中国との戦争、対英米戦争終了2年後にあたります。それは第2次世界大戦のドイツ降伏につぐ日本の降伏の2年後ということですが。この戦争の反省の中から生まれたいのがわたしたちの憲法です。

どういふ憲法をつくるかで民間の研究団体や政党も憲法案をつくり議論が行われました。政府案があまりに明治憲法と変わらないため占領軍の案が出されましたが、国会で審議され多くの修正を受け今日の憲法ができました。

当時行われた世論調査で多くの国民が九条を含め日本国憲法を歓迎しています。日本国憲法は人類に多大な惨害を与えた日本軍国主義の根絶とその温床と

なった日本国民の無権利状態をなくすことに主眼がおかれていました。また国民が教育の力によって民主的な社会の主人公として成長し、世界の人々との友好により世界平和を実現することが理想としてうたわれていました。

憲法の平和主義のもと国民は戦後の経済復興に力を入れ現在の経済社会を築き上げて来ました。今では憲法が日本国民の間に定着して、日ごろ意識したりすることも少なくなっていると思います。

憲法で守られているはずの「平和」「国民の権利」「自由」は、今どうなっているのでしょうか。自衛隊のイラクやソマリア沖への派遣。先日は北朝鮮のミサイル発射にそなえ対空ミサイルでの防戦直前まで行きました。

健康で文化的な最低限の生活が保障されているはずなのに、社会保障は多くの人を支え切れていません。

思想信条の自由が保障されているはずなのに、君が代を歌わない先生が処分されています。男女平等のはずなのに職場では待遇の違いが当たり前というのが現実です。

「憲法を時代にあわせて変えよう」という前に、62年前に決められたはずの「平和」や「国民の権利」や「自由」について、今じっくり学ぶ必要があると思います。

東久留米九条の会では今年発足4周年を記念して10月18日（日）午後 成美教育文化会館で記念の集いを開きます。

講師は一橋大学教授で九条の会事務局の渡辺治さんです。憲法といまの日本の社会について考えるきっかけにしていきたいんか。

東久留米九条の会事務局
鈴木信太郎

東久留米「九条の会」

—4周年のつどい—

東久留米「九条の会」は4周年を迎え、つどいの日程と会場が決まりました。大勢の参加お待ちしております。

◆2009年10月18日(日)

午後(時間未定)

◆成美教育文化会館ホール

◆講師 渡辺 治(九条の会事務局・一橋大学大学院教授)

本町・中央町九条の会 「戦争体験を聴く会」

【当時17歳、レイテ沖海戦での体験を語る】

3月8日、当日は19人もの方々がご参加いただきました。Nさんは体験講演にあたって、フイリピン、レイテ沖海戦のビデオ(30分)を用意されま

した。それは当時17歳、Nさんがこのレイテ沖海戦で海に放り出され、板切れにつかまって九死に一生を得た戦場であったからでありました。日本はこのレイテ沖海戦で始めて特攻隊を使い出したことを知りました。

この体験談で特に印象に残ったのは、前記レイテ沖10時間の漂流と、特攻隊第一号の関大尉、精神棒事件とでした。

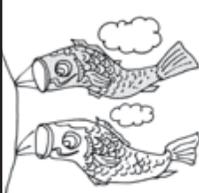
関大尉は上官から特攻任務が伝えられたとき3分間頭を下げてたまたまであった…。そして頭を上げ「分かりました」と。なぜか？関大尉は3ヶ月前に結婚したばかりだったからです。

精神棒とは樫や櫂の制裁棒です。ある日、抜打ち検査で20歳の青年のラブレターが発覚し、200人近くの取り巻く、精神棒を打ち据えられ、気絶するとまた水をかけて打ち込まれ2人が死亡した事件です。何をされても上官には一切逆らえなかつたこのことです。たくさん

には、レイテ沖でまたルソン島でお兄さんを亡くされたお二人のお話し、所沢の区役所に志願兵の募集場所を確かめられたご婦人。

Nさんの「戦争だけは二度としてはいけない」。このご講演に参加者から大きな感謝の拍手が湧き起こりました。この日は東京大空襲の2日前でした

(事務局 山室哲)



矢倉久泰さんの「三講演」

【教育基本法改訂のねらいは何か】(4月11日世話人会にて)

(矢倉さんは、毎日新聞で退社する1995年まで、長期にわたり教育関係記者として働き、現在も教育に関わって活動中です。)

矢倉さんは、1946年11月に公布された平和憲法に連動して1947年3月に制定された教育基本法の改定は、自民党結党以来の悲願であったと指摘。その民主的な教育基本法を愛国心教育に転換させるため、2006年12月に改定され、改定に向けての動きや政治的背景などの説明もありました。

教育基本法の改定により、国家に尽くす日本人を育成する教育が小学校では2010年度から、中学校では2011年度から完全実施になります。一方、教育行政も法律により政権政党に都合のいいように行われることになり、国家統制も強まることになります。

矢倉さんは旧基本法と改定基本法との比較資料を説明しながらの講義でした。短時間でしたが非常に分かりやすく、また奥深い内容でした。それだけに参加者からは、一層の学習と、教育の国家統制との闘いの重要性が話し合われました。

私の戦時下



私の戦争体験記

S・K 八十七歳

戦後六十三年を経た今日、戦争体験者が次第に少なくなり風化されつつあり、戦争を知らない世代が多くなって来ております。戦争のおそろしさ、残酷さ、戦争だけは絶対に起こしてはならないとの思いから筆をとりました。

兵役が国民の義務としておりました戦前は、満二十歳を迎えると全員徴兵検査が行なわれました。私も甲種合格となり1941年（昭和16年）12月

10日入隊が決定しておりましたが、直前の12月8日太平洋戦争が勃発した為、悲壮な気持で入隊したのを覚えております。

東京の部隊に入隊したのですが、すぐに北支派遣軍として中国河北省へ重機関銃中隊に配属され現地で初年兵教育を受ける。

演習、そして内務班での教育もきびしいものでした。教育という名目で私的制裁が毎晩のように行なわれた。何ひとつ反論はゆるされなかった。声がちいさい、報告がない、態度が悪いと言つては殴られ、古兵の何を何もやらないと言つてはけられ、初年兵の教育係から徹底的に命令の絶対服従を叩きこまれた。

私はどうせ一年間初年兵として苦勞させられるならばと、幹部候補生を志願しましたが、試験が終わると胸膜炎におかされているのがわかり、天津陸軍病院に入院してしまいました。当時は不名誉な事とされておりまし

たが、これが運命の別れになるうとは。

入院中昭和17年7月29日私の中隊が八路军と交戦し、参加した同僚の初年兵全員戦死された、との悲報に接する。

初年兵の中で私の家と最も近い隣の片山村（現新座市）のH君は、重機関銃の射手として活躍され入隊してわずか七ヶ月二十一歳の若さで戦死された。私も入院することなく討伐隊に参加して居たらと、感慨無量な気持ちで一杯になったのを覚えている。

其の後、私は10月に内地還送の命を受け、大阪陸軍病院から福井県鯖江陸軍病院へと転送され、昭和18年4月に治愈退院、九段の近衛歩兵第一連隊に復帰することが出来ました。

従つて東京大空襲では最初から最後まででの数回の空襲を体験致しました。

B29爆撃機から落とされた爆弾により巻き上げられた土石の雨を浴びたり、花火のように

落された焼夷弾が地上に落ちると、中の油が流れ出しアツと言う間に大きく広がり火の海と化し、東西南北どちらを向いても真紅の炎空を見上げると、B29の巨大な真白な胴体が炎に反射して真赤な悪魔のように見え

た。

三月十日の大空襲では、東京の庶民の町も焼きつくされ、東京が見渡す限り焼野原と化した中を公用で自動車を走らせながら、今後日本はどうなるのだからと考える毎日でした。

戦争の為の犠牲者は一般の弱い国民だった。戦争の実態を知らない人ばかりになった日本が、再び軍国主義国にならないよう戦争体験者の一人として願うばかりである。



《平和を考える本》



「ここに学校をつくろう」

グレッグ・モートンソン &
デヴィッド・オリバー・レリ
ン・原作

サラ・トムソン・文
(PHP 一四〇〇円十税)

パキスタンの高い山で道に
迷い、地元の人々に助けら
れた著者のグレッグ。その村
で目にした子どもたちの姿に
衝撃を受ける。彼らには学校
もなく、凍てついた地面に座
り、泥に棒で字を書いて勉強
していた。わが子に学問を！

と願う親たちの思いを受けて
グレッグは、アメリカに帰っ
て寄付を募り、パキスタンや
アフガニスタンで学校作りの
作業をはじめた。

作業の中で、グレッグは考
えた。子どもたちが、学校で
学び、生きるに値する未来を
期待できれば、貧困から脱却
でき、異なる文化・宗教を持
つ人々を簡単に排撃したり、
テロに走るようなことにはな
らないはずだ、と。柔軟な子
ども時代に、学ぶことの大切
さ！ 自国を見ても、大人の
反応が鈍い中、他国の子ども
たちを助けるために、「一ペ
ニーの寄付から」と、すぐさ
ま応じたのは、子どもたちな
のだから。

平和は戦争よりも力があ
る。——これは、父親の仕事
を幼い頃から見てきた、グレ
ッグの十二歳になる娘の言葉
である。

毎月9日は『9の日宣伝』—— がいっしょに参加しませんか！ ——
午後4時～5時・東久留米駅西口で「憲法九条」を「守り」「広げる」宣伝をしています。

お知らせ

◆九条の会講演会—加藤周一さんの志を受けついで

2009年6月2日(火) 開会午後6時30分(開場5時30分)

日比谷公会堂(東京都千代田区日比谷公園内)

講演:井上ひさし(作家)・大江健三郎(作家)・奥平康弘(憲法研究者)・澤地久枝(作家)

前売り券1000円 主催・問い合わせ:九条の会 <http://www.9-jo.jp/> 03-3221-5075

◆西部「九条の会」3周年のつどい

映像とお話:アフガニスタンの子どもたちとであって——今川夏如(NPO・MMCC)
子どもたちと歌う・・・みんなの夢の音楽隊

2009年6月20日(土) 午後2時～4時30分

西部地域センターホール

◆南部九条の会—「戦争体験の話」を聞く

2009年7月18日(土) 午後2時から

南部地域センター